

歴史講演会ご案内

だいせん

「大山古墳はなぜ巨大化したか

もす
—百舌鳥古墳群成立の背景をさぐる—」



宮川 渉 氏

『よみがえる百舌鳥古墳群』（新泉社 2018年）著者

元文化財保存全国協議会 代表委員

奈良県立橿原考古学研究所 研究顧問

日時：6月2日(日) 2時から

1:15から会の総会を開きます。

ところ 寝屋川市民会館 講義室

京阪「寝屋川市」駅下車。東へ徒歩約15分

または京阪バス31、36に乗車。

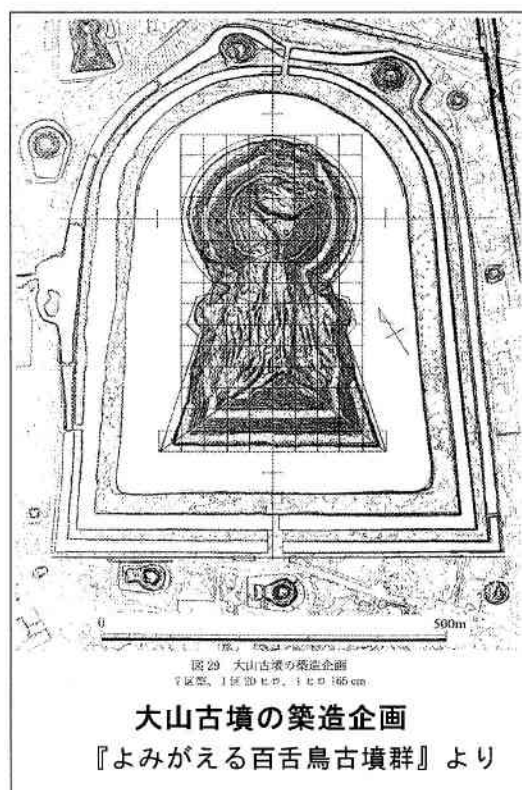
*参加費（会場費等）：300円

大山古墳は誰も知っている最大の前方後円墳です。
なぜ、これほど巨大な古墳が造られたのでしょうか？

現在、大山古墳は宮内庁が「仁徳天皇陵」として、
研究者が立ち入ることも禁止しています。宮内庁は巨
大前方後円墳の多くを陵墓（天皇や皇族の墓）として
管理しています。

宮川氏は堺市で生まれ今まで、大山古墳をはじめ百
舌鳥古墳群や各地の古墳を研究されてきました。また、
陵墓の公開について永年、取り組んでこられました。

最近、「百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に」という
言葉をよく見ます。講演では巨大な大山古墳がなぜ造
られたのかのお話に加え、「世界遺産」や陵墓の公開
についてなどと、他では聞けないようなお話も聞ける
かもしれません。



どなたでもご参加いただけます。事前申し込み不要です。

主催：寝屋川の歴史と文化を考える会

連絡先 〒572-0031 寝屋川市若葉町4-10 東 正男 方

Facebook <https://www.facebook.com/neyagawarekibun>